

バドミントン大会 要項

- 1 大会名 第39回筑紫区中学校バドミントン大会
- 2 期日 令和3年7月10日(土), 11日(日) 開場 午前 8時30分(予定)
10日(土) 午前: 男子団体戦
午後: 女子団体戦および個人戦
11日(日) 午前: 男子個人戦
午後: 女子個人戦
- 3 会場 那珂川市民体育館 (那珂川市恵子4-1-1)
- 4 参加校 筑山, 筑紫野, 筑紫野南, 二日市, 学業院, 太宰府, 太宰府西, 大利, 大野, 大野東, 平野, 御陵, 春日, 春日西, 春日東, 春日南, 春日野, 春日北, 那珂川北, 那珂川南 【20校】
(男子) 団体…筑山, 筑紫野南, 学業院, 平野, 大野東, 春日, 春日北, 那珂川南 【8校】
個人のみ…筑紫野, 太宰府, 太宰府西, 大野, 春日西, 春日東, 春日南, 春日野
(女子) 団体…筑山, 筑紫野, 筑紫野南, 二日市, 学業院, 大野, 大野東, 平野, 春日, 春日南, 春日北, 那珂川北, 那珂川南 【13校】
個人のみ…太宰府西, 大利, 御陵, 春日西, 春日東, 春日野
- 5 参加資格 筑紫区中学校体育連盟規約『大会出場資格』による。
- 6 競技方法 男子の部
○団体戦 2複1単 1チーム8人までとする。各校1チームまで、パート別リーグ戦を行う。
※単と複を兼ねることはできない。決勝トーナメントは2点先取法とする。
○個人戦 単: 各校6人まで。

--

 トーナメント
複: 各校6組まで。

--

 トーナメント
※単と複を兼ねることはできない。
女子の部
○団体戦 2複1単 1チーム8人までとする。各校1チームまで、パート別リーグ戦を行う。
※単と複を兼ねることはできない。決勝トーナメントは2点先取法とする。
○個人戦 単: 各校6人まで。

--

 トーナメント
複: 各校6組まで。

--

 トーナメント
※単と複を兼ねることはできない。
◎ 団体戦及び個人戦の全ての試合は21点1セットとする。
◎ 団体戦のオーダーは、試合前までに提出する。提出後の選手変更は認めない。
◎ ラリーポイント制で行い、20-20になったら2点差がつくまで行い、29-29になったら30点目を取ったものがそのセットの勝者とする。
- 7 競技規則 ①公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、ならびに大会運営規定に準ずるとともに、本大会の申し合わせ事項に準ずる。
②引率・監督は出場校の校長・教員とする。コーチについては、出場校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、筑紫区中体連に登録し承認を受けたものとする。
③服装については、日本バドミントン協会審査合格品か学校の体操服とする。また、ソックスは白を基調としたものとし、くるぶしが隠れるものを使用する。
④ゼッケンは、背部につける(右下の図参照)。
- 8 申し合わせ事項 ①日本バドミントン協会検定水鳥球(2種検定合格)を使用する。
②4チームのリーグ戦で、対角のチームが同率の場合は抽選(くじ)を行うこともある。
- | |
|-------|
| 30 cm |
| 学校名 |
| 姓 |
| 20 cm |
- 9 表彰 表彰は、団体・個人とも3位まで行う。なお、筑前大会には団体・個人とも6位まで出場できる。
- 10 専門部長 江口 秀和(大野城市立大野東中学校 大野城市乙金台2-5-1)
- 11 審判員 武富彩(那珂川南)・原健一(筑紫野南)・井原麻貴(大野)・笹部大地(春日)・高尾久美(学業院)・日下部正実(春日北)
- 12 競技役員 笹部大地, 中牟田知佳(春日) 宮野李子(春日東) 太田みのり(春日南) 日下部正実, 原田千聡, 永利淳志(春日北) 中村亜紀子(春日野) 山内博道(春日西) 井原麻貴, 染矢亜依(大野) 江口秀和, 江島純子, 中岡美香子(大野東) 管伸一, 田中浩一, 奥藪浩一(平野) 木戸久善(大利) 鷺朝菜(御陵) 吉村竜治, 井上千秋, 河野隆子, 關幸徳(筑山) 原健一, 河野美南, 菊池康子, 花田恵子(筑紫野南) 佐藤秀樹(二日市) 高尾久美, 大石進, 井上美明, 足立拓実(学業院) 柏田雄基, 河村彰大(筑紫野) 石橋眞子(太宰府) 高木のり子(太宰府西) 福田圭介, 後藤駿, 武富彩, 原真由美(那珂川南) 梶原裕介(那珂川北)
- 13 申し込み 6月10日(木) 17:00までにFAXまたはメールにて申し込むこと。
申し込み先 大野城市立大野東中学校 江口 秀和
(TEL: 503-5101 FAX: 503-5183 Mail: eguchi-h@onojo-ed.jp)
- 14 組み合わせ 6月18日(金) 16:00~ 大野東中学校にて組み合わせ会議を行う…各市の審判員が出席

新型コロナウイルス感染拡大防止のためのガイドライン

1 参加者に関する留意事項

- (1) 各学校で「健康チェック表」（自宅で検温）を記入し、受付時に提出する
- (2) 発熱もしくは、体調に異変を感じた時には参加を中止する（棄権時は、会場に行かず、各学校の顧問に電話等で連絡する）
- (3) 体育館への入場は、3密にならないように学校ごとに時間をずらす
- (4) 外履きは袋に入れ、自分で管理し、下足箱は使用しない
- (5) 試合以外では、マスクを着用する
- (6) ゴミは全て持ち帰り、自宅で処分する
- (7) 自身の試合・役割（敗者審判等）が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに帰宅する
- (8) 階段やギャラリーの手すりには、触れない

2 大会役員に関する留意事項

- (1) 入場前に入り口付近で密にならないように、各学校の待機スペースを設定し、入場時間もずらす
- (2) 入場後に手先のアルコール消毒および非接触型の体温計による検温を実施する
- (3) 入場の際に、発熱もしくは体調が優れない場合は、入場を拒否する
- (4) 開閉会式は、実施しない
- (5) 試合終了後には、審判用紙をはさむバインダー、シャープペン、シャトルの筒、これらを入れたかごのすべてを消毒する
- (6) 消毒をする際は、ビニル手袋をつけて行う
- (7) 試合に影響のない程度に換気をした状態で大会を実施する
- (8) 適宜、会場の巡回を行い、手すりや電気のスイッチ、トイレなどの消毒を行う
- (9) コーチングシートは、設置しない
- (10) 密をさけるために、組み合わせやタイムテーブルの貼付をしない

3 監督・コーチに関する留意事項

- (1) コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う
- (2) ミーティング等においても3密を避け、極力屋外で行い、会話時にマスクを必ず着用するなどの感染防止対策に十分配慮する
- (3) コーチングシートは設置しないため、試合中はコート周辺の周辺で待機する

4 選手および応援の生徒に関する留意事項

- (1) 控室では、着替えのみとし、食事はしない
- (2) 控室や荷物を置く場所では、密を避けるよう各自が心掛けて利用する。また、定員が設定されている場合は遵守する
- (3) 観戦は、指定された場所や席、または距離を空けて行う
- (4) 観戦中の応援は、声を出さず拍手などで行う
- (5) ウォーミングアップは距離をあけて行う
- (6) コートへの入退場は、それぞれ指定された時間に、速やかにコートに集合する（移動の際は2m 以上の間隔を空ける）
- (7) コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに収容する。こぼした時は、モップ等で拭きとる（自分のタオルを使用して拭かない）
- (8) ラケット・タオル等の用具の貸借はしない
- (9) 床の汗拭きは、モップもしくは所定の用具を使用する
- (10) 汗をコート内やコートサイドに投げない
- (11) シューズの裏を手で拭かない
- (12) 意識的に試合中の声出しはしない
- (13) プレーヤー同士やコーチとハイタッチ、握手等の接触を行わない
- (14) 試合の前後には、各コートに備え付けてあるアルコールで手先の消毒を行う

5 審判員および係員に関する留意事項

- (1) 感染防止のために、審判台は使用しない
- (2) 主審は、試合の前後にプレーヤーがアルコール消毒をしているか確認する
- (3) 主審は、支柱から最低でも1m離れて行う
- (4) 得点板の担当は、備え付けのビニル手袋を使用する
- (5) 試合で使用したシャトルは筒に戻さずに、そのままかごに入れる
- (6) 主審は、本部席において試合の前後で手先をアルコール消毒を行う

6 観客に関する留意事項

- (1) 感染防止のために、観客は参加校の監督およびコーチ、団体メンバーの選手、個人戦の選手、2・3年生の部員、教職員のみとする（保護者、卒業生などの入場は禁止する）
- (2) 体育館への出入りの度に手先をアルコールで消毒する
- (3) 試合終了後、体育館を出る際は、本部にて準備したタオルとアルコールで、応援の際に使用した場所を消毒する